



世界に羽ばたくクライマー 安田あとりさん

地元、芦川が大好きな 高校3年生



「ホールド」と呼ばれる突起物を手掛かり、足掛かりにして登ります



PROFILE

安田あとりさん 山梨英和高校3年生

1歳半の時に芦川村(現・笛吹市芦川町)に家族と共に移住。小学4年生でフリークライミングの一つであるボルダリングを始め、5年生でコンペ(競技会)に初出場。2006年にJFAユース選手権のユースB(16歳未満)で優勝し注目を集める。08年からは国際大会・世界大会にも出場し、活躍の場を広げている。

清流・芦川が流れる 心安らぐ場所

御坂山系の中央部に位置し、黒岳に源を発する芦川の上流に広がる山里、笛吹市芦川町。深呼吸したくなるような澄んだ空気と豊かな清流、緑深い山々に囲まれた地です。

あとりさんは、そんな豊かな自然が育んだ、今、世界で活躍する期待の高校生クライマー。「小さい頃から自然が友達。山がすぐ近くにあるので、気が付くと登ることに興味を持つていました」と言います。

「遊び場は、山や川。木の実を採ったり、花を摘んだり。中でも好きなのが芦川です。川底まで透き通っていて、すごくきれいなんですよ。小学生の頃は、よく水遊びをしたり、冬には川にたくさんできる、つららをとるのが大好きでした」と、とびきりの笑顔で幼い日々を懐かしそうに語ります。

高校生になつてからは、大会出場や遠征、練習と忙しくなり、芦川の自然の中でのんびり過ごす時間は、なかなかないそうですが「やっぱり芦川に暮らしているだけでリラックス



できます」と、にっこり。「将来子どもが生まれたら、芦川みたいな自然豊かな所で育てたいな」と、はにかんだ笑顔を見せました。



農産物直売所「おごっそう家」で大好物の芦川特産「味噌こんにゃく」を頬張るあとりさん

目標はワールドカップ優勝

高さ数メートルの岩壁をロープは使わず専用シューズと手だけで登る競技「ボルダリング」。小学4年生で始めて以来、日々練習に打ち込んでいます。

筋力や柔軟性、思考力、判断力などトータルでのバランスの良さが求められる競技にあつて、柔軟性を生かした動きの幅や冷静な分析力が、あとりさんの強さの秘密。

「登りきった時の達成感はもちろん、スタートからゴールまでのルートが、手と足を掛けるポイントによって毎回違うので、常に新しい状況に挑戦する面白さがあります」と目を輝かせます。

「目標ですか? やっぱ、ワールドカップ優勝です」。世界を見つめる、その目には、強い意志と熱い思いが感じられました。